



2023.10
No.161

松川町議会です

町民投稿

流れ星 夜空を過ぎ去る 訪問者 (北小6年 みやした みらい 宮下 未来)



上片桐育成会 星を見る会にて

(仮称) 元気センター急展開!

2ページ

第4回定例会 (9月議会)

3~5ページ

令和4年度決算総括審議

令和5年度一般会計補正予算 (第5回)

6~9ページ

第3回臨時議会 (8月)

10ページ

一般質問 町の考えを問う

19~23ページ

元気センター、ハローミヤ跡地には建設しなさい！ 跡地どうして売却可能な宅地として計算 町長9月議会でも表明…待ち望んでいた利用者ら落胆！！

9月議会の最終日(9月20日)に町長より、ハローミヤ跡地に福祉施設を建設しないとの説明があった。前段で、北沢町長就任後に「仮称元気センター」建設についての再検証を役場内で行ったという内容について、議会に説明があった。再検証から判断した町の結論が、ハローミヤ跡地には建設しないというものである。「再検証に関する報告書」を受けての、町の方針内容は次のとおりである。

町の考え方は？

受益者住民、納税者住民(税金を納める人)、主権者住民の理解度を高める取り組みとする。

現段階では旧店舗跡への建設は行わないこととした。

●「地域共生の実現」についてはその地域にあった仕組み作りが必要であったが「どのような施設にしたいか」というハード面への議論が先行してきた。

●本来であれば、地域コーディネーターなどを中心に、地域共

生を実現するために何が必要なのかなどを論議し、そこから具現化する必要がある。

●現在一時的に借りている事業実施場所(上片桐公民館など)の代替施設の整備対応は緊急の課題である。

●これらを踏まえ、地域共生の実現に向けた共同検討体制の確立と、代替施設の整備は分けて考えていく。

●まずは、「地域共生コーディネーター」を確保すべく必要予算を補正予算にて、445万円

が上程され可決された。

●代替施設の整備は、老人福祉センターを耐震改修し、コミュニケーションなどを入れる。高齢者生きがいデイサービスは社会福祉協議会を利用する。概算整備費は2億5,500万円。

委託事業者は？

親愛の里 事業所の結論はすぐには出せない。障がい者は声をだしづらい。時間が掛かっても良いのでハローミヤ跡への建設を望む。**社協** 老人福祉センターでは、道

議員の意見は？

今まで長い期間掛けて進めてきたものを、いとも簡単に覆されるのは悲しい。

ハローミヤ跡地に建設する建物の価格をもう一度計算し直す必要があるのではないか。(間瀬議員)

議会としては？

これまで報告が無かったため議会として議論の機会が持てなかった。この方針が真に住民のためになるかを注視し議論していく。




どうする？ハローミヤ跡地

宮下町政最後の年。決算にみる政策と事業の結果は！

9月定例会 令和4年度一般会計・特別会計など決算審査!!

一般会計	歳入	歳出	差引額
一般会計当初予算額 65億800万円	81億2,894万円	74億8,207万円	6億4,686万円



 POINT! 当初予算額は65億800万円だったが、コロナ関連などで上記のように大幅増額となった。	翌年度繰越金(令和5年度)	1億7,084万円
	実質収支額	4億7,602万円

	歳入	歳出
特別会計(4会計)	28億8,189万円	28億2,820万円
公営企業会計(3会計)	18億2,366万円	18億2,238万円
合計	47億 556万円	46億5,059万円

認定!!



質問 人件費の抑制は緊急の課題であると感じているが。
(加賀田議員)

答弁 町民のニーズの多様化に伴い正規の職員の数が増えているが人件費をあげていくことは難しく定員管理を進めていく必要がある。課の統廃合をすすめ、横断的に業務に関わる体制を作っていくことなどで対応していく。

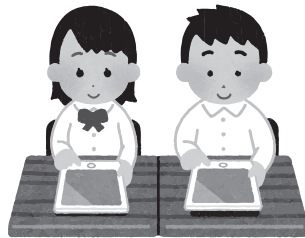
人件費増加の
対応は

ここが聞きたい!!

質問 子育て・教育の充実を掲げているが、予算の配分が少ないのでは。
(加賀田議員)

答弁 大胆な政策を打ってこなかった。学園化構想も含め、有機野菜を使った自校給食、特別支援学級の充実など今まで松川町が培ってきたものに更に力を注いでいく。

教育費は十分に
割り当てられたか



質問 国民健康保険税、町税などの滞納金、未収金は税の公平性ということから回収をすすめるべきでは。
(松井議員)

徴税の滞納金・
未収金の扱いは

答弁 滞納金を一度に払えない方については分納という形で納付をすすめたり、滞納整理機構などを利用して徴収に取り組んでいる。税負担の公平性の観点、自主財源確保のためにも適切な債権管理のもと今後も徴収に努めていく。





人材育成プロジェクト 研修の成果は

質問 松川町・下條村・阿智村合同人材育成プロジェクトの研修はどのような効果があったのか。(米山郁議員)

答弁 役場の職員と町民、計9名が参加した。町が抱える課題を対処する上での知識の取得、これからの時代を生き抜いていくなかで探求心を養うこと、そしてなにより町村の枠を超えた仲間作りができた。これから連携をしながら将来への取り組みに繋がるものと期待している。

町の公園の管理 運営は

質問 町の公園の管理運営は長寿命化計画の策定に入っているか。(米山郁議員)

答弁 公園長寿命化計画を担当課で作っている。むらやま公園など、多くの町内外の皆様にご利用いただいている。多くの皆様のニーズを反映できるような計画を作っていきたい。



町内外の利用者の多いむらやま公園



電気代高騰をうけ早急にLED化を

街灯のLED化 早急に

質問 街灯・防犯灯はすべてがLED化されているのか。ソーラーパネル付きのタイプへの交換は考えているか。(塩沢議員)

答弁 街灯・防犯灯ともに、電気代・物価の高騰のあたりを受けての費用の増額が起きている状況に加え、CO2削減の意味でも今後切り替えていく予定である。

まつかわ観光まちづくり センタープログラムの実績は

質問 まちづくりセンターが企画運営している既存のプログラムに加え新しいプログラムの状況は。(星野議員)

答弁 既存のプログラムである「遊びの学校まつかわ」などの対外交流プログラムには安定した集客がある。また新規に開発し10月から始まった農園でのオーチャードピクニック、2月からの醸造所ランチツアーなどこれから集客の見込める魅力的なプランを宣伝開発していく。



昨年10月から始まったオーチャードレストラン

議会の視点



令和4年度は宮下町政最後の年であり総括の意味合いを含むものであった。

一般会計当初予算では65億円からスタートし、新型コロナウイルス感染症対応として電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金が、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)や子育て世帯に支給され、地方創生臨時交付金による町独自の支援事業などにより7回の補正予算が組まれた。決算額は74億8,000万円余となり、内3億円がコロナ対策関連事業として使われた。

議会としては、事業の費用対効果について事業別に評価している。町内店舗で利用できるまつかわ事業者応援券発行事業7,500万円、農工商事業者へ4,400万円の支援事業がなされ、教育関連では3,200万円を投じている。自治会対策会議の推進や地域公共交通事業チョイスコの立ち上げなど一定の評価はできる。しかし、コロナ禍に加え、ウクライナ侵攻による経済的影響のなかで、地方創生臨時交付金が町民にとって平等・公平に運用されたかは疑問が残る。

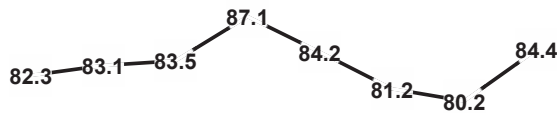
松川町の財政はどうなっているのか！

令和4年度主要財政指標

区分	指数	財政指標目安
経常収支比率	84.40%	70~80%
実質収支比率	10.70%	3~5%
公債費負担比率	7.6%	10%を超えないことが好ましい。
財政力指数	0.38%	数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政状況に余裕がある
将来負担比率	△21.0%	マイナスは将来負担の度合いが少ないことを表す。
実質赤字比率	—	黒字のため-(マイナス)表記

経常収支比率

昨年に比べて4.2ポイントの上昇。物価高騰などが影響！



H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4



POINT! 経常収支比率とは

地方公共団体の財政構造の弾力性を表したものの。経常的な経費(人件費、扶助費、公債費など)に経常的な収入(地方税、地方交付税など)がどの程度充当されているかの比率を示す。

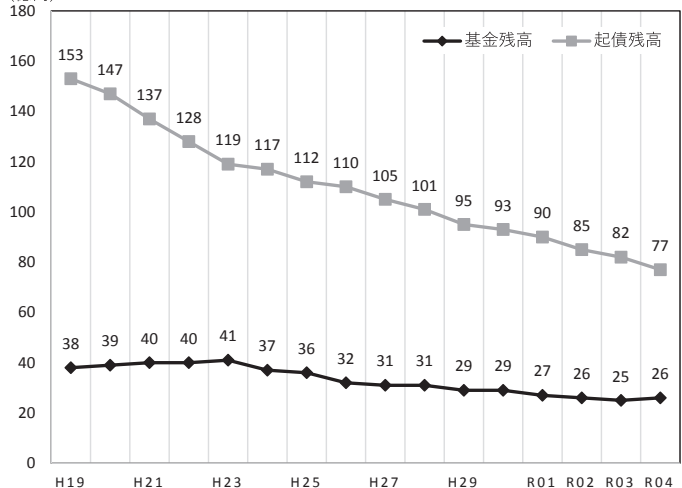
基金(貯金)と起債(借金)の推移

基金と起債の見方



基金(貯金)が多いと税金が有効に活用できていない反面、少ないと非常時に不安が残る。基金と起債のバランスは常に一定の間隔で推移していくのが望ましい。

(億円)



監査の視点

令和4年度一般会計決算の実質収支は4億7,602万円の黒字となり、前年度と比較して4,128万円の増加となった。実質収支比率は10.7%と前年度より1.2ポイント上昇したが、標準財政規模からみると概ね適切といえる。町債残高は前年度に比べ5億2,638万円(△6.8%)減少し、実質公債費比率は4.8%と昨年度から横ばいとなり、総じて健全な財政状況が維持されている。

しかし会計年度任用職員を含む人件費率が0.8ポイント上昇しており、今後は職員の抑制が必要と思われる。加えて公共施設の老朽化や大型事業などが見込まれるなか、引き続き町民への福祉・公共サービスの提供することも踏まえて、効率的で効果的な事業を執行する必要がある。国などからの財源確保に取り組み、財政状況や事業の優先度を十分に勘案しながらの行政運営が望まれる。将来人口も念頭に置きつつ、引き続き改善に努めること。



9月補正予算（肉付け予算への計上が続く）

9月定例会では町の一般会計補正予算(第5回)が審議され、令和4年度決算にもとづく繰越金、新たに計上された地方交付税、国や県の補助金を受けた事業、4月の人事異動による人件費、また値上がりしている公共施設の光熱水費などが計上された。各常任委員会の審査を経て議会最終日の9月20日に可決された。議会最終日には一般会計補正予算(第6回)も上程され可決された。

一般会計補正予算(第5回)

補正予算額	補正前の額	計(補正後)
6億3,215万円	65億7,600万円	72億816万円

一般会計補正予算(第6回)

補正予算額	補正前の額	計(補正後)
2,871万円	72億816万円	72億3,687万円



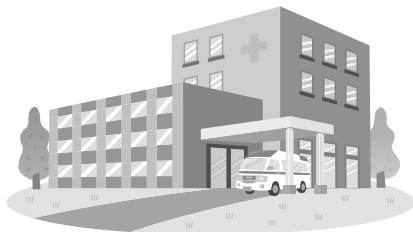
主 な 事 業

日赤病院運営費補助金 1億2,000万円

答弁 毎月情報交換を行っている。電子カルテの導入、番号呼び出しなど要求は伝えている。

質問 補助金を出す町側として、運営に関わる要望などは出しているのか。
(加賀田議員)

下伊那赤十字病院への運営費補助



障がい者福祉費 1億2,213万円

答弁 主には自立支援給付で、今年度当初予算で減額されていた。今までの経緯と3月までの支出の見込みを計算して必要な額を計上した。

質問 多額の補正であるが内容は。
(塩沢議員)

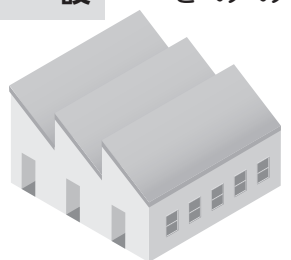
介護給付費(訪問系)	734万円
介護給付費(入所・通所)	1,524万円
訓練給付費	9,240万円
補装具	258万円
自立支援医療	153万円
計画相談支援ほか	151万円

工場など設置事業補助金 1,638万円

答弁 町内へ進出する企業や、現在の町内企業などで、青色申告書を提出する法人または個人が取得する工場や機械設備に係る固定資産税相当額を補助。

質問 工場など設置事業補助金とは。
(間瀬議員)

工場などの誘致の促進と松川町内の既存企業の振興を図るための補助



観光地域づくり推進事業費 3,066万円

答弁 当初予算の段階で観光まちづくりセンターから提案を受けた事業である。キャンピングカーの町内施設として具体的には清流苑、梅松苑、大きな観光農園に設置を検討している。

質問 観光まちづくりセンターの方向性や方針に沿った補助金となっているのか。その内容は。
(米山議員)

観光PR事業	400万円
キャンピングカーステーションなど	
観光コンテンツ施設整備補助	2,667万円
清流苑支援繰出金	830万円

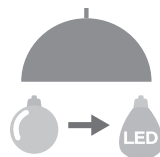
まつかわの里施設費 2,600万円

スポーツ施設LED化

800万円

室内温水プールLED化

1,800万円



質問 全協では公共施設等適正化事業債を利用するとの説明であったが、脱炭素化推進事業債に変更になった理由は。

(米山郁議員)

答弁 公共施設等脱炭素化推進のための事業債で公共施設など適正化に含まれるものである。

信州まつかわ温泉清流苑

事業会計補正予算(第3回)

大規模改修事業管理委託 700万円
大規模改修工事 2億2,000万円

討論

賛成

ここでリフレッシュし、新しい顧客を集客することは非常に大事である。

(間瀬議員)

反対

町民の保養施設という役割から離れて観光客ありきの施設となっている。経営計画が無いまま進められている。

(米山義議員・米山郁議員)

人事

松川町教育委員会

委員の任命

井口由紀子(元大島)

〇任期

令和5年9月27日
令和9年9月26日

人権擁護委員候補者の

推薦について

増澤 稔(元大島)

〇任期

令和6年1月1日
令和8年12月31日

締結

令和5年度道路メンテナンス事業町道211号線橋梁補修工事請負契約の締結について

〇請負の金額

5,588万円

〇契約の相手

有限会社 泉崎組

陳情2

松川町の地域猫不妊去勢手術に町の補助を求める陳情

地域猫の去勢手術を自費でおこなっている立場から町からの補助を求める。

討論

不採択

反対

地域との共存の仕組みができてから求めるべき。

(加賀田議員)

他市町村では飼い猫に対する補助金が主であり、地域猫に限定するべきではない。

(坂本議員)

賛成

現実に地域として、猫が増えすぎてしまうという状態のなかで、個人的に自費で去勢手術をしている。要は野良猫を増やさないということが一番の目的。

(松井議員)

陳情3

「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情

政府はマイナンバーカードに一本化する法案を可決した。誤登録や情報漏洩「資格無効」と表示されるなどトラブルが続出し不安がある。安心して医療が受けられるように現在の健康保険証の存続を求める。

討論

不採択

反対

健康保険証は写真が無く、不正使用が問題となっている。顔写真による認証が必要。

(坂本議員)

マイナ保険証にした方がコスト的に減少すると見込まれる。

(塩沢議員)

賛成

マイナンバーカードは任意で全国民に強制して持たせることはできないため現段階では難しい。

(加賀田議員)

安心して使える環境を整えてから進めるべきである。

(米山義議員)

だより

社会文教 常任委員会

に総務産業建設常任委員会を行い、それぞれ付託
て現地調査も実施しました。

を分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会(こども課・生涯学習課)・会計室の分野を担当しています。

質問・意見

答 弁

- ①歳入の町民税では均等割は減額、所得割は増額、固定資産税では土地と家屋は減額、償却資産は増額となっているが、この現象をどのように捉えているか。
- ②特養松川荘と社会福祉センターの建物調査190万円はどのような調査をされるのか。
- ③ふるさと学習副読本改訂編集委員の報酬として5万6千円計上されている、どのような方が編集委員をされるのか。
- ④保育所職員の給与、報酬が減額となっているのは異動だけでなく、職員の減員のためか。
- ⑤ひまわり乗車券123万円増は当初予算の肉付けであるが、デマンド交通チョイソコとの連携はしないのか。

- ①予算を見積るなかで予測ができていない部分もある。所得税や固定資産税は結果をまとめた補正であり、町全体の経済状況までは分析できていない。
- ②施設の長寿命化を目的とし、修繕計画を立てるうえで外壁、屋根、空調設備、配管などの調査を委託するものである。
- ③副読本は、5年ほど経過している。来年度改定をしていく準備として、前回執筆した方、資料館に関わっていた方を編集委員として予定している。
- ④会計年度任用職員の不足する部分について募集をかけたが、採用が叶わなかったので減額補正する。
- ⑤65歳以上の方の利用率は低下傾向にある。サービス提供はどういう場合に不便がなくなるか、使い勝手が良くなるか、色々な目線から検討している。

審査を付託された議案 令和5年度

- ①一般会計補正予算(第5回)
- ②国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)
- ③後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)
- ④介護保険事業特別会計補正予算(第2回)
- ⑤発電事業特別会計補正予算(第1回)

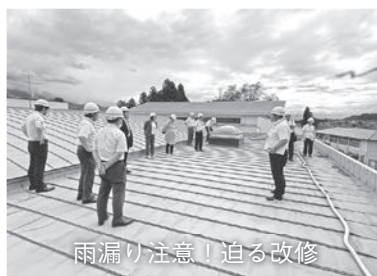
令和5年度各補正予算は、質疑・討論を行い、全員賛成であり、当委員会としては原案の通り認めることが妥当と決しました。

陳情2 「地域猫不妊去勢手術への補助を求める陳情」は賛成3反対2で採択。

陳情3 「健康保険証の存続の意見書提出を求める陳情」は賛成1反対4で不採択。

調査・研究

9月4日午後、大規模改修が予定されている図書館・資料館を現地調査しました。図書館ではMMMプロジェクトによる読書スペースが完成間近でした。



総務産業建設 常任委員会

総務産業建設常任委員会は、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当しています。

委員会

9月4日(月)に社会文教常任委員会、9月6日(水)にされた議案について審議しました。委員会判断に
※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査

質問・意見

答弁

- ①表敬訪問激励金は非常に良い制度。対象者の選定に明確な基準作りが必要だと思うが。
- ②移住定住促進事業の実効性をあげるため外部コーディネーターに委託するのではなく、外部の目を持った移住者の方の意見を集めるべきでは。
- ③およりの森、修景伐採はニセアカシア45本の伐採計画だが、伐採した木材の処理は。
- ④キャンピングカーステーションなど観光コンテンツ施設整備はレンタル用キャンピングカーを購入し滞在交流につなげるとあるがステーションの場所、予約方法、料金体制はどうか。

- ①全国大会以上の大会出場者や社会的評価の高い顕著な活動を行った方が町への表敬訪問の申し出があった時に激励金を支給できることを目的に規定した。
- ②関係者の意見を集めることは非常に大切。具体的な方法を考え進めていきたい。
- ③森林サービス産業総合対策事業補助金を活用した新規事業。伐採した木材は薪として販売するほかウッドチップとしての利用を予定している。
- ④町内の観光施設を想定しレンタルカーシェア、車中泊を予定している。実施主体は町だが、細部についてはサイトを運営している事業者へ監修をお願いしている。施設運営はDMOと事業者が共同で実施する。

審査を付託された議案 令和5年度

- ①一般会計補正予算(第5回)
- ②水道事業特別会計補正予算(第3回)
- ③下水道事業特別会計補正予算(第3回)
- ④信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第2回)

付託をされた令和5年度一般会計補正予算、水道事業特別会計補正予算、下水道事業特別会計補正予算、信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算については全員賛成であり、付託を受けた議案は委員会として原案通り認めることが妥当と決しました。

調査・研究

9月6日、長寿命化改修工事が終了した旧松川青年の家、花と憩いの場の空間づくり事業を予定しているむらやま公園の2か所について、現地視察をしました。



屋根も外壁もキレイになりました



むらやま公園にパーゴラ(日陰棚)を設置予定

家庭と食育にやさしい

第3回臨時議会(令和5年8月7日) 給食費無償化実現へ

北沢町政になって4ヶ月。電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援助地方交付金の増額・強化を受け、8月7日第3回臨時議会が開催され、子育て支援策に10月からの保育園・小中学校の給食無償化、中小事業所支援などを盛り込んだ一般会計補正予算(第4回)が可決された。



有機食材を活用



家計にOK

令和5年度一般会計補正予算(第4回)

補正前の額	補正予算額	計(補正後)
63億9,748万円	1億7,852万円	65億7,600万円

主な支出

目	内容	補正予算額
児童福祉費	保育園給食費	847万円
教育費	小学校給食費	1,819万円
教育費	中学校給食費	1,167万円
商工業振興費	中小企業支援事業	2,750万円
自然エネルギー費	地球温暖化対策実行計画調査費	1,190万円

チェック
します!

議案の質疑



質問 給食費無償化の次年度以降の財源は大丈夫か。

(松井議員)

答弁 給食費無償化の次年度以降の財源は、町財政は健全であり大丈夫である。

質問 10月より給食無償化となるが、有機食材の購入はどのようなか。

(米山義議員)

答弁 有機食材の購入については今同様に取り組んでいく。

質問 町外の保育園を利用している方やファミリースクールを利用している子ども達への対応は。

応は。

(米山郁議員)

答弁 町外の保育園利用者並びにファミリースクールの子ども達についても検討していく。

質問 事業所への給付金の受付で商工会に入っていない方への対応は。

(米山郁議員)

答弁 事業所への給付金受付は、産業観光課でも対応する。

質問 6月の災害復旧は当然だが、災害が起きる前に手当てを考えるべきだと思うが。

(森谷議員)

答弁 6月の豪雨で被害がでた9カ所などに対応。9月に各自治会や区から土木工事の要望をいただき優先順位をつけて対応する。

質問 地球温暖化対策実行計画委託の調査方法は。

(塩沢議員)

答弁 町の温室効果ガス排出量など基礎データを把握し、ゼロカーボン達成のシナリオを作成する。

討論

賛成

給食費の来年度以降の財源確保は業務の洗い直しと見直しのチャンスである。災害復旧は、災害が起らないような大きな工事を計画的に進めてほしい。

(米山俊議員)

議 決 結 果

令和5年 第3回臨時会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件名	結果	内 容
補正予算 令和5年度松川町水道事業会計補正予算(第2回)について	可決	約348万円を追加し、約2億9,955万円とする。
令和5年度松川町下水道事業会計補正予算(第2回)について	可決	約795万円を追加し、約5億6,792万円とする。
発議 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当など支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書の提出について	可決	長野県下伊那郡松川町学校教職員組合 代表 今井 正広氏
「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について	可決	長野県下伊那郡松川町学校教職員組合 代表 今井 正広氏

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

件名	星野光洋	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
補正予算 令和5年度松川町一般会計補正予算(第4回)について	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決	約1億7,852万円を追加し、約65億7,601万円とする。

令和5年 第3回定例会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件名	結果	内 容
契約 令和5年度道路メンテナンス事業 町道211号線橋梁補修工事請負契約の締結について	可決	契約金:5,588万円 契約の相手方:有限会社 泉崎組
令和4年度決算	令和4年度松川町一般会計歳入歳出決算認定について	認定 歳入 81億2,894万円 歳出 74億8,207万円
	令和4年度松川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 歳入 11億8,341万円 歳出 11億5,550万円
	令和4年度松川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定 歳入 1億7,871万円 歳出 1億7,776万円
	令和4年度松川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 歳入 14億9,334万円 歳出 14億8,551万円
	令和4年度松川町発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 歳入 1,480万円 歳出 942万円
	令和4年度松川町水道事業会計歳入歳出決算認定について	認定 収益的収入 2億9,799万円 資本的収入 5,123万円 収益的支出 2億9,127万円 資本的支出 1億3,787万円
	令和4年度松川町下水道事業会計歳入歳出決算認定について	認定 収益的収入 5億5,782万円 資本的収入 6億3,401万円 収益的支出 5億5,906万円 資本的支出 5億 202万円
	令和4年度松川町信州まつかわ温泉清流苑事業会計歳入歳出決算認定について	認定 収益的収入 3億4,614万円 資本的支出 146万円 収益的支出 4億1,367万円
令和5年度補正予算	令和5年度松川町一般会計補正予算(第5回)について	可決 6億3,215万円を追加し、72億816万円とする。
	令和5年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)について	可決 2,050万円を追加し、11億6,423万円とする。
	令和5年度松川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1回)について	可決 84万円を追加し、1億8,877万円とする。
	令和5年度松川町介護保険事業特別会計補正予算(第2回)について	可決 1,360万円を追加し、14億416万円とする。
	令和5年度松川町発電事業特別会計補正予算(第1回)について	可決 538万円を追加し、1,417万円とする。
	令和5年度松川町水道事業会計補正予算(第3回)について	可決 収益的支出 3億847万円
	令和5年度松川町下水道事業会計補正予算(第3回)について	可決 収益的支出 5億6,307万円 資本的支出 5億3,613万円
	令和5年度松川町信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第2回)について	可決 収益的収入 4億1,030万円 資本的支出 2,500万円 収益的支出 4億1,971万円
任命	松川町教育委員会委員の任命について	可決 松川町在住:井口 由紀子 氏
推薦	人権擁護委員の候補者の推薦について	可決 松川町在住:増澤 稔 氏

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

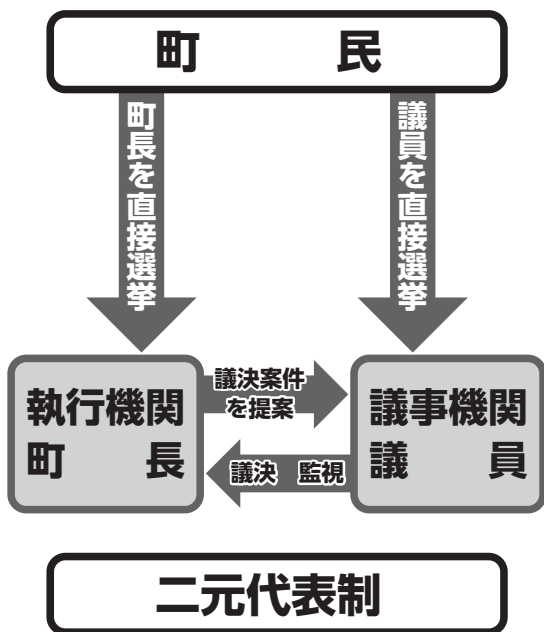
件名	星野光洋	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	坂本勇治	森谷岩夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
補正予算 令和5年度松川町信州まつかわ温泉清流苑事業会計補正予算(第3回)について	○	○	●	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	可決	資本的収入 2億4,700万円 資本的支出 2億5,200万円
陳情	松川町の地域猫不妊去勢手術に町の補助を求める陳情	●	●	●	○	○	○	○	欠	●	○	○	不採択	松川町在住:大沢 明美 氏
	「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	欠	●	●	●	不採択	長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫 氏 飯伊地区社会保障推進協議会 会長 遠山 計 氏

7月～9月 主な議会日程

7月3日(月)	広報部会	24日(木)	戦没者追悼式
6日(木)	広報部会	28日(月)	議会全員協議会、議員協議会
13日(木)	議会運営委員会 視察	9月1日(金)	第3回議会定例会開会・総括質疑
14日(金)	県議員研修会	4日(月)	社会文教常任委員会
19日(水)	旧青年の家あと利用視察研修	5日(火)	議会改革推進会議
20日(木)	子ども出前講座	6日(水)	総務産業建設常任委員会
21日(金)	北部ブロック議員研修会	7日(木)	議会全員協議会
25日(火)	議会全員協議会、議会運営委員会	14日(木)	第3回議会定例会一般質問、議会改革推進会議
30日(日)	女性模擬議会	20日(水)	議会全員協議会、第3回議会定例会閉会
8月2日(水)	議会改革推進会議、議会運営委員会	25日(月)	広報部会
7日(月)	第3回臨時会、議会改革推進会議	26～27日(火～水)	広報部会視察研修
21日(月)	議会改革推進会議	28日(木)	高森町議会との交流会

定数・報酬の議論は慎重に

首長・議会は互いに独立機関(二元代表制)



議会は住民を代表する公選をもって構成される意思決定機関であり、条例の制定、改廃にとどまらず、ひろく行財政全般にわたりチェックします。行政は議会の議決を経た上で諸々の事務を執行することとされています。首長、議会ともに住民の直接公選による機関であり、互いに独立しその権限を侵さず、侵されず、対等の立場にあることを十分理解しなければなりません。議会は住民の福祉を考え、住民の立場にたって判断することを求められます。

議会と首長は互いの権限を十分理解

議員の行動規範の確認

議員一人ひとりとは個人で活動することもありますがそれには責任を求められます。一定のルールの中だけで行動するべきでありますが、個々の議員が拡大解釈し活動している側面も見受けられ、信頼される活動にするために、今回改めて規範の再確認を行いました。

議員報酬・定数

投票率の低い原因の一つに報酬が少ないと言われる町民もいます。議員定数は、平成12年から他町村より比較的早い時期から削減しています。報酬は定数4議席減したにも関わらず増額はされていません。議会改革推進会議にて以前から議論を継続しています。

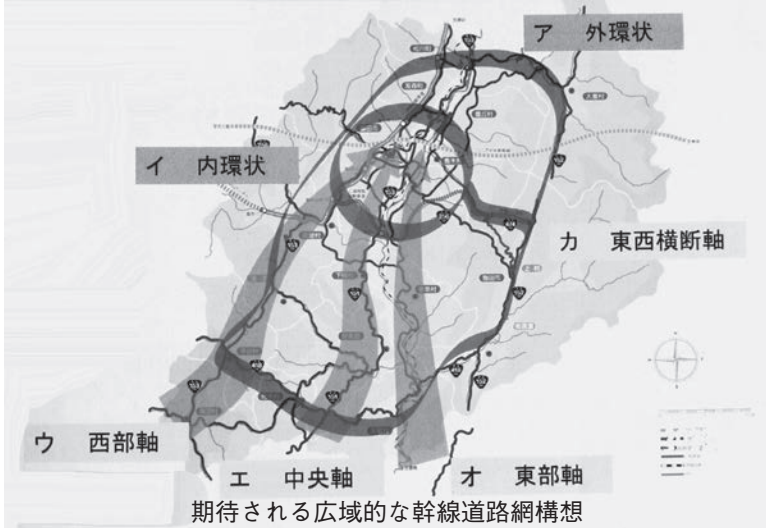
議論は慎重に

報酬を改正し、定数を減らせば投票率が上がる、という単純なことではありません。全員協議会、委員会などのチャンネル・ユー、の積極的な公開は、議会活動の理解を得るためであり、行動規範の再確認を行ったのもその一環です。定数減は、慎重な議論が必要で、最近の研修会でも定数減＝議会力低下に直結、且つ当選ラインが上がり、無投票を促進する負の連鎖が生じ、注意すべきとされています。報酬に関しても首長の報酬や近隣町村などの状況も判断して実施するものです。一万人以上の自治体は他への影響もあり特に慎重に行わなければなりません。

年度	議員数	議員1人当たりの負担			月額議員報酬(円)
		人口	世帯数	面積(km ²)	
H12	18	778	222	4.04	200,000
H16	16	900	250	4.55	190,000
H20	14	1,014	314	5.20	190,000
H24	14	993	321	5.20	190,000
H28	14	971	329	5.20	190,000
R02	14	936	329	5.20	190,000
R04	14	906	336	5.20	190,000

過去のデータからは、定数減と報酬との関連性は見受けられない。

南信州地域の広域的な幹線道路網構想及び計画
「南信州環状」及び「南信州軸」



講演会に講師として 下伊那土木振興会事務局 局長関島氏を迎え、説明を受けた。

リニア開通後の道路 ネットワークの基本的 な方針として①「南信

南信州地域の課題を共有
リニア新時代の道を切り開く
下伊那北部ブロック町村議会研修会7月21日当町で開催

地域外との交流拡大」 ②「上伊那飯伊地域の 連携強化」③「リニア 中央新幹線(長野県駅) の利便性向上などを目 的に、広域的な幹線道 路網構想及び計画「南 信州環状」「南信州軸」 を南信州広域連合が作 成した。この計画にお いては二つの環状と4 本の軸に南信州の広域 幹線道路網構想計画に より道路整備を進めて 行く構想である。

午後からの研修会、 総務産業建設、教育社 会の二つの分科会では、 助言者を交えて北部ブ ロックの共有要望事項 の審査を行った後、全 体会で分科会報告、質 疑を経て要望項目を決 定した。

陳情
知事・県議会へ
北部5町村

9月21日北部5町村 正副議長、事務局長に より県庁へ陳情活動を



県議会への陳情

行った。7月の議員研 修会での要望項目につ いて県庁4階会議室に おいてまず議会関係3 委員会の正副委員長へ の陳情を行い、続いて 駒ヶ根市選出の佐々木 議長へ中平議長より細 部にわたる説明を行い 陳情した。午後1時よ り県議会初日の傍聴の 後、県の関係部局への 要望活動において、新 しく建設部長に就任し

た新田部長は北部ブ ロック関係の陳情案件 を良く認識しており前 向きな答弁もあった。

先進地調査
通年議会は現時点必要なしと判断

議会運営委員会では かねてより通年議会導 入について議論してき たなか、県内の先進地 軽井沢町議会の視察研 修をおこなった。7月 13日(木)町役場で遠山 議長の挨拶、通年議会 導入の経過について説 明を受けた。本会議が いつでも再開できる ことは、議会が主体 性機動性を高めるこ とになり、通年議会 の導入について機運 が高まった。議会改 革検討特別委員会を 設置し、議会基本条 例の制定など諸課題 をクリアして、平成 23年3月より通年議 会制に移行した。視 察側として、導入後 の状況について、委 員会の活動が活発に なったことで事務局の 負担が増えたが、その 他大きな問題は特にな いとのことである。帰 町後、議会運営委員 会で精査をおこない、現 状では導入について特 にメリットはないとの 結論に至った。



軽井沢町議会調査

もっと届けよう女性の声!!

女性模擬議会報告



順序	氏名	質問事項
1	木下真理子	1 特色ある子ども園(保育園・幼稚園)の重要性について
2	中村富士子	1 自治会の「作業お助け隊」を。 2 地球温暖化ストップのなかのCO ₂ 排出削減対策。
3	佐々木康子	1 町の観光事業を、より活発により充実していくためには、環境整備が必要と思います。 2 平和学習について
4	久保田菜美子	1 栄養面からみた保育園・小中学校の給食およびおやつの内容について 2 妊産婦、子育て親を取りこぼさない取り組みの重要性について
5	市原すみ子	1 松川インターに続く沿道に食事のできる商業施設について
6	北林幸子	1 旧松川東小学校の遊具撤去について 2 税金の使い道について
7	下澤香代	1 移住定住について 2 1人暮らしの高齢者の生活を支える取り組みについて
8	北原紀子	1 チョイソコまつかわの運営状況について 2 仮称「元気センター」について
9	手塚恵子	1 清流苑の現状運営について
10	下澤綾子	1 令和2年度から2年間行われた3町村合同人財育成事業の提言についての回答の有無について 2 女性模擬議会について 3 松川町において公教育の多様性について
11	保城充子	1 マイナンバーカードおよびマイナ保険証の普及状況とトラブル事案について 2 リニア中央新幹線に関連した松川町の残土問題について 3 町の情報提供について、特にチャンネルユーのあり方 4 町の景観(特に国道153号線沿線)と、「美竹の町」、自然環境

女性の視点から、将来のまちづくりや、福祉、教育、子育て、環境などについての意見徴集の良い機会になればと、7月30日(日) 町当局の協力を得て松川町の議会議場を会場に女性模擬議員11人が一般質問方式で日頃の思いを町政に伝えた。当日の傍聴は60人と注目の高さを示した。

質問 やま保育特化型など、特色ある保育園を要望したいが。

答弁 各園で環境と地域との繋がりを生かした特色ある保育をおこなっている。保護者が選択できる保育園も良いこと。

質問 自治会運営や作業への参加者減少で負担が増えている。現状解消に「作業お助け隊」を作る提案をしたい。

答弁 自治会にはそれぞれの問題点があるが、「お助け隊」というのは、新たな取り組みでもあり、検討も必要。

質問 当町の小中学校や社会人が平和学習をする機会が少ないように思うがお考えは。

答弁 学習指導要領に基づいて行っている。

町独自の取り組みとしては「学びの旅プログラム」を6年生対象で、満蒙開拓平和記念館や増野の満州引揚者の生活について学習することになっている。

質問 学校給食の調味料はミネラルが不足している。伝統的な製法で時間をかけて発酵熟成され天然の旨みと、ミネラルなどの栄養が豊富な調味料への切り替えを提案したいが。

答弁 現在のところ調味料に関しては、有機を進めていない。安心安全な食べ物には配慮し、子どもたちの食育を大事に考えていきたい。

質問 インターからの沿道にサテライトオフィスなどを併用した道の駅など商業施設を要望したいが。

答弁 松川インターの玄関口は果樹園と直売所があつて、商業施設がない全国的にも珍しい環境が町の特徴であり、差別化された魅力となつている。

質問 旧東小学校校庭の遊具が利用者に連絡や相談もなく全て撤去された。経緯の説明を。

答弁 撤去については

質問 生田地域への定住については年齢に関係なく、定住祝い金制度を提案したい。

答弁 松川町全体で人口減少が進んでいる。

生田地区においても、深刻な問題であると把握している。課題解決に向け新しい政策を考えていくなかで提案も検討していきたい。

質問 「チョイソコマつかわ」がスタートし、運営していくうえで問題点、課題点が出てくるが今後の対応は。

答弁 運賃決済の手段や停留所の見直し、JR飯田線やひまわり乗車券との連携、Web画面の予約の仕方、ルールの見直しについて検討を進めていく。

ディングや中身のレベルアップが求められる。マナーの向上について職員自ら話し合いを行つている。

質問 令和2年度から行われた3町村合同人材育成事業の提言についての回答がないが。

答弁 松川町からは4人の住民と5人の役員が参加している。3町村のなかで、早急に協議して方向を決めていこうと進んでいる。

質問 清流苑は多額の資金を投じて改修を予定されているが、接客マナーに対する姿勢をどのように考えているか。

答弁 単なる建物の改修だけでなく、ブラン

町内では森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用して整備をしている。町民の協力を得ながら検討していきたい。

近隣市町村での女性模擬議会の開催はめずらしく参考になった。

質問者の声

● 町長や職員が真摯に答弁してくれたことに感謝する。

● 今後は年代別を対象として、開催して欲しい。

● ユーチューブに載せて欲しい。

● 開催に感謝する。

● 町民の反響が大きく、会う人会う人に「見たよ」と言ってもらい嬉しかった。

議員の声

● 日程的に大きな問題もなく進めることができた。

● 現役議員として学びがあつた。

● 事前打ち合わせ会をしたことにより、良い質問ができた。

行政の声

● 人数を絞ってほしかった。

● 幅広く町民の意見を反映できる機会としては良い企画であった。

● 行政側の負担が大きかった。

● 平日、昼間の会議にしてほしい。

傍聴者の声

● 女性限定ではなく、以前のように子どもや若者模擬議会開催を要望したい。

● 意見を伝えることができる女性が多いことに感心した。

● 女性限定ではなく、以前のように子どもや若者模擬議会開催を要望したい。



女性パワー全開での質問に圧倒か

自分ごと 自治会再生



コミュニケーションツールの変化と高齢化

自治会の加入率はどこまで下がるのか？

戦後の高度経済成長と共に地域組織のもっていた機能が喪失されはじめ、地域再編とコミュニティ施策のひとつとして平成3年に地方自治法が改正された。「地縁による団体」が「地域的な共同活動のため不動産または不動産に関する権利などを保有するため市町村の認可を受けたときは、その規約に定める目的の範囲において、権利を有し、義務を負う」ことが定められた。自治会活動を積極的に進めることが可能となったのである。住民のさまざまな活動や「まちづくり」は自治会を土台として行われるようになった。

自治会と地縁団体

地縁団体とは、「町または字の区域その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体」と定義されている。町では現在区会・自治会数は76で内44の地縁団体が登録されている。

誰が該当するのか

区域に住所を有することのみを構成員の資格としており、自治会、町内会のように区域に

住所を有する人は誰でも構成員となれる。

自治会の活動は

(1)安全で安心な生活を送るために

(1)防災、防火(災害時の協力)

(2)防犯・交通安全

(3)福祉、保健(健康相談など)

(2)快適な環境づくりのために

(1)ゴミの分別や集積場の設置

(2)景観、自然、道路(河川清掃・道路の環境

美化・広場の清掃)

(3)地域のみんなとの交流

(1)公民館活動、子どもたちのふれあい、スポーツ大会

(2)運動会、夏祭りなどで地域の課題をみんな

で解決

(1)小集会(話し合い・調整)、行政との懇談

(2)冠婚葬祭の助け合い

松川町自治会

対策会議発足

町は、自治会の抱えている問題を一つでも解決することで、誰もが安心して共に暮らせ

る。持続可能な地域づくりにつなげようと、

令和3年8月に会をスタートさせた。10自治

会と8区会が一堂に会し、各自治会の抱えている課題の共有を図り、

研修会では、清北自治会、生東区の取組み事

例や飯田市山本地域づ

くり委員会による発表を受け、グループ討議

を重ねてきた。

現在北沢町政では自治会再生に向けた取り組みの動きはない。問題は先送りになってしま

まうのか。

スリム化へ 生東区組織改革

生東区5自治会は2月18日臨時区会において生東自治会ひとつに統合した。また、生東地区公民館は休館と決定された。

区会の役員会は廃止し、区会委員も現行34人から21人に削減。区組織のスリム化を図った。令和5年4月から新組織として自治会運営がされ、役員の負担軽減が期待される。



他人ごと・待たれる

対策会議の状況と今後



飯田市山本地区の先進事例を学ぶ

自治会加入率は

松川町

項目\年	H22	H27	R2
総人口	13,676	13,167	12,539
世帯数	4,287	4,355	4,445
自治会加入率	81.5	77.8	71.5

高森町

項目\年	H22	H27	R2
総人口	13,216	13,080	12,811
世帯数	4,219	4,346	4,516
自治会加入率	79.2	75.6	68.4

・総人口：国勢調査 ・世帯数：住民基本台帳
・自治会加入率：住民基本台帳

各自治会の課題は

- 担い手不足、高齢化著しい
- 自治会の運営にはお金がかかる
- 自治会の意義(必要性)そもそも自治会は必要なのか
- 役員の担い手不足(高齢化、構成)
- 自治会活動(役員)で省けるものはないか
- 自治会に入るメリットは
- 加入金、自治会費は妥当か

町に対する要望は

- うまくいっている自治会の事例を聞きたい。
- 多くの自治会が参加できるように、呼び掛けてほしい。
- 町の考え(自治会についての認識)を示してほしい。

コロナ対応から変わるか自治会運営

平成20年に発行された松川町史によれば自治会問題は平成18年以前から始まっている。平成19年には地域社会活動交付金の一括交付や加入推進チラシの配布、自治会担当職員制度などの取り組みをしているが、問題は積み重なり、今に至っている。

をもち、新しい自治会活動への改革時期が来ている。今いちど原点に戻り、自治会の果たすべき役割を見直し、他人ごとではなく、自分ごととして捉えていかなければならないのではないか。

議会では一般質問において幾度となく自治会問題について質問を投げかけ、提案を提示してきた。ようやく自治会对策会議が発足され改革への一歩を踏み出している。時代はSNSやライオンなどにより若者のコミュニケーション手法が変化してきているなかで近所付き合いも稀薄になってきている。コロナ感染症による影響が地域活動に変化



(参考資料)

- 松川町史第一巻
- 議会全員協議会資料
- 令和5年度区長・自治会町会資料
- 高森町人口調査表

町の考えを問う!

一般質問

1. 星野光洋 (19ページ)

- ・松川町の少し先の未来に向けての新しい指針となるような目標、夢をこめた大きなキャッチコピーの必要性について
- ・松川町における小中学校の体験型の学習について

2. 米山義盛 (20ページ)

- ・新農業法人設立について
- ・今どういう教育が求められているか

3. 加賀田亮 (21 ページ)

- ・地方再生手段の在り方と改善について

4. 塩沢貴浩 (22ページ)

- ・松川町における病児保育、また障がいのある子ども達への支援について
- ・带状疱疹ワクチン接種の助成について

5. 米山俊孝 (23ページ)

- ・事業決定に対する姿勢は
- ・治山事業に対する対応について
- ・松川町を取り巻く自然財産の活用

一般質問は、議員が町長などに事業の執行状況や将来の方針について所信や疑問を質し説明を求めるものです。

掲載内容については、編集の都合上質問者の責任において本人が原稿を執筆し、掲載しています。

お知らせ



今月の表紙

上片桐育成会主催の「星を見る会」が9月23日(土)に上片桐改善センターで開催されました。

曇の合間から土星が見え宇宙を知る良い機会の一夜となりました。

議会の様子がYouTubeで見られます

「松川町議会」と検索していただくと過去の本会議、全員協議会、委員会、各議員の一般質問の様子をご覧いただけます。

ぜひ検索してみてください。

7月20日 議会出前講座

北小6年生20名に議場へ来ていただき、議会について説明しました。



議会サポーターメンバー募集

議会では町民の皆様に町政に関心を持っていただき意見交換をするために、「ラインメンバー」を随時募集しています。

どなたでも参加できます。スマートフォンを利用します。お気軽にご連絡ください。

議会サポーター応募先アドレス
<https://onl.tw/3nXkpQH>





星野光洋 議員

問 保育園、学校の体験型学習は

答 町独自の体験学習を進めていく

文科省より小中学校における体験型学習が教育の重要な柱と位置付けられている。松川町の保育園、学校ではどんな取り組みが行われ、今後どういった計画があるのか。効果や問題点なども含め質問をした。

いっぱん質問

(問) 松川町の小中学校、保育園で現在行われている体験型学習は何があるか。

(教育長) 松川町では今年度からまつかわ観光まちづくりセンターに委託して「まつかわ学びの旅プログラム」を取り入れている。小中学校では米作りや果樹栽培の体験、開拓の歴史の学習、満蒙開拓記念平和祈念館の見学。中学校では「松川を知る」ということをテーマに学習。福与保育園では自然保育に取り組んでいる。いずれも地域や人とのつながりを大切にしたい体験的な学習を積極的に取り入れている。

(問) どのような経緯でまたどのような理由で現在の体験学習の内容になったのか。

(教育長) 北小学校では用水路でホタルを見つけたことをきっかけに「もっと増やしたい」と飼育を始めるなど、子供たちが主体的に課題を持って追求してきた。教育委員会としては松川町を愛して、誇りに思えるようなカリキュラムを編成している。学園構想も踏まえ、松川町全体で意味のある体験型学習に取り組んでいく。

(問) 体験型学習の生徒への効果は。

(教育長) 社会的な事象、自然事象に直接かわるので子供たちは五感を通して実感的に対象をとらえることができる。理解が深まり、その対象に対して興味関心が高まりやすい。また思考する力や表現力が高まることも実際に目にして

いる。主体的に取り組む、人や自然とのかわりの中で豊かな人間性が育まれていると感じる。

(問) 問題点や課題などは。

(教育長) 時間が足りない。準備や移動の間、全員が体験するまでの時間は学習指導要領で定められた範囲で確保できない。また高学年、中学校に進むにつれて少なくなっていく。

てしまう。体験が目的になり、最後の学習が疎かになること。加えて費用の問題などが考えられる。

(意見) 今の松川町には魅力的で面白い体験型学習をサポートする熱意と経験のある地域の方々が揃っている。先生方に加え、ぜひその方たちの力をお借りして、松川町の体験型学習が長野県、全国に誇ることができるようになるべきである。



およりの森での自然体験学習の様子

答 「くだものの里」と環境保全型農業を推進



米山義盛 議員

いっぱん質問

新農業法人設立に向けての準備が進められている。この8月には定款・事業についてのパブリックコメントや法人の名称についての公募が行われたが、町民にこの動きがあまり知られていないように思い、この間の経過や新農業法人設立のねらいを問う。また、不登校児童が増えているなかでの、その対応や教育のあり方を問うたが、未来を担う子ども達の思いを大事に健やかに育む上で、大人たちの価値観が問い直される学び合いが必要ではないか。

(問) 「オーガニックビレッジ宣言」を3月に行い、さらに一般社団法人で新農業法人を作ろうとしているが町全体の農業政策上での位置づけは。

(町長) 農業法人の設立は以前より議会からの提言されていた重要課題で、ようやく実現できる段階にきた。近年高齢化など諸事情で果樹栽培を継続する上で困難を抱えている。他方松川町で農業をやりたい、美味しい果物を自分で作りたいと都市部から果樹研修生が来られ、若武者や農業女子など若手農業者の会、定年退職後の就農者もいる。離農される方から就農する人に農地を引き継ぐ橋渡し役、新規就農者への条件の良い土地の斡旋。そのために農地を維持管理し、積極的に動ける法

人が必要である。また環境保全型農業で持続可能な農業を推進する。町の魅力、個性でもある100年の歴史を持つ果樹栽培を始め、生命の源の食料を生産し、暮らしを支える農業が継続していくよう法人を中心に、関係機関、農業者とともに取り組みたいと考える。

(問) 新農業法人設立について一般の町民などに十分伝わっていないと思うが、検討会議の構成メンバーと検討経過の説明を。

(産業観光課長) 農業振興会議の委員は31人で、令和3年12月農業法人についての素案を提案した。令和4年度は、6月に第1回会議の開催、町の農業の現状と課題について意見交換・協議。第2回7月末は、町の農業の課

題と今後について5グループに分かれ話し合った。第3回9月末、前回ワークショップで出された課題をまとめ、農業法人の方向性のイメージ化を図った。第4回昨年12月は、農業法人の事業計画案を提示した。今年3月第5回では、新農業法人の立上人案など設立の形を提案。今年度第1回は5月末、定款・事業計画の素案を示した。この8月のパブリックコメント募集に至っている。

(問) 不登校の増加は学校教育のあり方が問われている。今この問題に対してどう取り組む必要があるか。

(教育長) 7月の教育懇談会や9月の学校運営協議会でも不登校の問題を話し合い、これからは大人の価値観を変えていく必要がある。不登校数は昨年よりは若干減っているが、2学期に入って増えるか推移を見守っていく。非常に多様化しており、全ての子ども達に学びの場を提供できるように努力が必要だ。



リンゴ園を守ろう！



加賀田亮 議員

問

ふるさと納税と地域おこし協力隊の課題は

答

偏りがあるがバランスを是正したい

地方再生政策のうち、ふるさと納税と地域おこし協力隊についてその課題や改善方針を質した。どちらも一定の分野に大きな偏りが見られ、他町村と比べると大きな成果が出ているとは言えないのが現状だ。当方の分析や問題点の指摘、改善提案に対し、町長は真摯に受け止めており、前向きに対応する姿勢を示した。今後の町政運営に反映されることを期待したい。

(問) ふるさと納税の現状と課題は。

(町長) 商品開発を含め関連業務を全てDMOに委託している。近年は伸びつつあり昨年は2億強の寄付があった。しかし近隣自治体に比べ突出しているわけではない。DMOの活用によりさらなる企画開発につなげ、返礼品を通じて町の魅力をPRしたい。

(問) 近隣町村だけでなく、同規模人口の県内町村と比較した場合、寄付一件あたりの金額、人口一人あたりの寄付金額ともに当町は下位グループに属している。当町の返礼品は9割が農産物関連だ。この偏りをどう考えるか。

(町長) 当町の場合は農産物に頼らざるを得ない状況がある。在庫

管理などの体制を整える時間が足りず、金額・件数とも伸び悩む恐れがある。ネット販路の拡大やDMOの企画力強化に注力したい。

(問) ふるさと納税は寄付者が希望する用途を明示する。農業関連は26%、子育て教育関連が29%だ。しかし寄付額2億円のうち返礼品調達とその関連業務に約1億円消費している。つまり農業関連に50%費やしている。子育て教育関連にも同等の支出をすべきでは。

(町長) 寄付者の希望内訳を精査し、バランスよく分配し希望に沿って財源を支出したい。

(問) 地域おこし協力隊は現在8人が在籍しているが、7人が果樹農業研修を行っている。都市部などの外部の

視点を持った人が移住して地域の課題を解決するのが本来の姿だ。あまりにも果樹農業研修に偏っていないか。

(町長) 町が抱える問題を洗い出し、協力隊に要請したい業務を明確にして、今後は幅広く活用していきたい。

(問) 地域おこし協力隊が定着し、地域の課題解決に貢献できている先進事例を参考にすべきだ。募集の際には課題を明確にして具体

的な解決行動を明示できれば、良い人材が集まる可能性が高い。反対に「産業活性化」「観光促進」などといった抽象的な課題で募集すると、失敗となるケースが多いようだ。協力隊がうまく機能すれば、隊員その人自身が町の魅力としてPRとなりうる。積極的に戦略的な協力隊の呼び込みが町の再生を左右すると考えるが。

(町長) ぜひ精査して積極的に活用したい。



徹底した課題の掘り下げと支援が良い協力隊人材を呼び込む

問

病児保育・障がいを持つ子ども達への支援は

答

近隣市町村との連携を含め適切に進める



塩沢貴浩 議員

町では病児保育を行える施設がない。発達の遅れなどで入園できない子どもたちもいる。そうした子どもたちへの対応や支援の状況を質問した。松川町を中心に、近隣の町村の子ども達も請け入れる体制を構築していただきたい。また帯状疱疹ワクチンの助成についても質問した。

いっぱん質問

(問) 子育て支援のひとつとして、おたふく風邪やインフルエンザ時も子どもを保育園に預けることのできる「病児保育」があるが、町としての考えは。

は専用スペースや専門職員を配置する必要があり、現状では難しい状況である。

(問) 豊丘村、高森町との広域での対応は。

ひまわりを中心に支援を受けている。

(問) 取組のひとつとして、リトルベビーハンドブックの導入は。

(保健福祉課長) リトルベビーハンドブックは出生時、体重が1kg未満、身長が40cm未満でも記入可能な母子手帳のことで現在は母子手帳の副読本として配布されている。県は県立子ども病院と相談して現在作成中。今年度中の発行を予定している。

(問) 地方自治体で15%にあたる272の自治体で助成が行われている。30%を超える国も動くと思う。

を参考に慎重に考えていく。

(町長) 南信州定住自立圏構想に基づき飯田市と協定を締結しており、健和会の「おひさまはるる」をご利用いただいている。病児保育は保育士だけでなく、看護師の配置が義務付けられている。設置に

(子ども課長) 現在は南信州単位で取り組んでいる状況である。規模の違う町村単位の連携は情報・課題の共有から検討していく。

(問) 発達の遅れなどで保育園に入園できないお子さんへの対応は。

(子ども課長) 医療的配慮など状況は変わるが、こちらも南信州単位で取り組んでいる。飯田市の子ども発達センター

(問) 帯状疱疹ワクチンの助成についての考えは。

(保健福祉課長) 長野県では6市村で実施している。町では来年度以降、給食費の無償化などの財政負担が予想される。国、県の動向

(保健福祉課長) 国での議論も何年も結果が出ていない状況。国だけでなく県にも要望を出していくのが重要と考える。帯状疱疹は免疫力の低下が原因のひとつ。保健師を中心に疲労やストレスを溜めないよう呼び掛けていく方法もあると思う。



全国で配布されているリトルベビーハンドブック

発達センター

される。国、県の動向





米山俊孝 議員

問 事業決定に対する姿勢は

答 効率的な行財政運営を行い前進する

時には振り返り事業の総括を行い、その結果を伝え。新たな政策に対しては賛否が必ず意見として出ると思う。政策を提案しなければ、意見も出ない。いろいろな意見を聞きながら、積極的な運営を期待したい。

いっぱん質問

(問) 治山事業に対する

(町長) まずは事業をした後は事業の振り返りが必要だと思う。その事業の効果は責任を持って住民の皆さんにお伝えしなければいけないとも思っている。必要なときには必要なのところを積極的に投資していくという思いには変わりがないので、そのように進めていく。

(産業観光課長) 県とともに状況変化を早め

(町長) 防災減災国土強靱化の予算は国でも延長をすることとなっている。治山事業は、山地災害の予防や国土保全を目的とする重要な事業であることから、国有林では国が、民有林では県が実施する。民有林であっても、規模や技術的な必要性、重要区域によっては国が実施する場合もあり、県に対し点検調査や、対策工事の働きかけが役割と思っている。森林環境譲与税の活用も検討し、町としてできることを考えていきたい。

(問) 町長も就任以来新規事業として、給食費無料化事業を実現された。財政状況も踏まえた予算化についても具体的に説明され取り組まれた。

新規事業立ち上げによりさまざまな検討がなされたと思うが、全体的な見直しにもつながったと思う。今後とも積極的な運営をお願いしたいと思うが、今後の方針については。

る対応について。三六災害から60年以上経過し当時の復旧工事もほころびが出ていると思う。予防防災の見地からの対応は。

(町長) 防災減災国土強靱化の予算は国でも

に気づくよう、地元からの情報収集もしながら対応していく。

(問) 松川町を取り巻く自然財産の活用として、中央アルプス登山道整備ができないか。

中央アルプスには北アルプス、南アルプスとは違った魅力がある。登山道整備が満足にできておらず、訪れたい人がいても、二の足を踏む状況と、この整備をボランティアで行っている皆さんから聞く。鳩打峠からの出入りが多く現在整備がされている烏帽子岳へは大勢の登山者が訪れているが、烏帽子岳を

含む奥地籍は松川町から外れるが、入り口の鳩打峠は松川町なのでトイレ整備など松川町に対する感謝の声を聴く。中央アルプス南越百から松川方面かけては稜線部分が多町村に絡むため整備が進まない原因にもなっている。訪れたい人を迎えるためにも、県・他町村にも働きかけ整備の対応ができないか。

(産業観光課長) 県・

国などに大勢の方に喜んでもらえる山にしたというところで、その思いをしっかりと繋げた



登山道整備熊笹刈作業

この町に暮らして

美味しい果物でケーキづくり

(新井北部) 林 正浩

安曇野市出身の自分が製菓学校進学のため上京し、12年間過ごした頃妻と出会い子どもが産まれたのを機に、自然に触れあってほしいという思いもあり約8年前、妻の実家のある松川町へとやってきました。

そろそろ自分の店を考えた時に商工会に相談にのってもらい、ご縁のあった今の場所に「けーきやペパン」を

オープンすることができました。「くだものの里松川町」は季節をとおして果物が多く、今まで知らなかった品種、それぞれの味の違いに驚き、感動しました。ありがたいことにりんご農家である妻の両親や、関わる農家さんから食べ方や味の違いを教わることで、商品に活かせるよう日々勉強しています。おかげ

さまで今年7年目をむかえ、メイン商品のタルトタンやリングのバターサンドはふるさと納税返礼品にも登録していただくこともできました。

当店のお菓子が松川町の美味しい果物の味をたくさんの方に知ってもらえる一つのきっかけとなり訪れる人たちが増え、さらに町が賑わい元気になったら



嬉しいです。

また松川町で2人目の子どもにも恵まれました。まだまだ子育てについても勉強中です。なるべく一緒の時間を過ごしたいと思い、店で子どもたちが手伝いをするつもりです。仕事との両立は思うようにいかないこともありませんが、お客様や家族、保育園の先生、ご近所の皆さんに支えてもらい良い環境のなかで子育てができていることに感謝しながら、楽しく暮らしています。

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者 ● 子どもたち



松川中学校 演劇部

演劇部は、1年生3名 2年生4名 3年生10名で活動を行っています。

演劇は、演技をするだけでなく、音響や照明、衣装や、小道具、大道具などを工夫しながら総合的に作り上げるところが楽しく、昨年からは台本作りにも挑戦し、より良いものを作り上げるためにみんなで協力しています。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

広報部

(編集委員会)

- (部長) 松井悦子
- (副部長) 米山義盛 塩沢貴浩
- (部員) 間瀬重男 米山郁子 星野光洋

あ と が き

例年のない残暑が続く中、9月の定例会を終え、今回の議会だよりではその内容を反映し多くのページを割きお送りしました。先日受けた広報研修会にて、よく見出しなどで使われる「～について」は、読み手の方の目を引くには不向きであると教わりました。慣習にとらわれず、少しでも皆さんが議会に興味を持っていただくよう言葉の選択にも気を配って編集していきたいです。
(星野光洋)